



坪内 涼二

県議会レポート VOL. 23

ごあいさつ

6月2日、丸山知事は中国電力島根原発2号機の再稼働について、容認する考えを表明しました。松江市や周辺5市長に加え、県議会も5月26日に再稼働を了承しました。私も産業や生活のため現状では原発が一定の役割を担う必要があり、やむを得ないと考え容認するとして知事の判断を支持します。

中国電力が安全に原発の運転をするよう、その動向をチェックするとともに、避難対策の向上が図られるよう県議会としてもしっかりと再稼働を了とした責任を果たして参ります。

県政報告会のお知らせ

- 7月11日（月） 18時00分～
跡市地域コミュニティ交流センター
- 7月12日（火） 18時00分～
渡津地域コミュニティ交流センター
- 7月20日（水） 18時30分～
波積地域コミュニティ交流センター

ご来場お待ちしております

5月定例会ではこんなことが決まりました

- **令和4年度一般会計補正予算**
第1号：新型コロナウイルス感染症対策として39億円
第2号：新型コロナウイルス感染症追加対策など17億円
第3号：原油価格や物価高騰対策として31億9,200万円
- **令和3年度一般会計補正予算（第15号）**
- **国民の祝日「海の日」の7月20日への固定化を求める意見書**
- **農業の生産資材等高騰に対する意見書**
消費者に食料を安定的に供給するため国内の農業生産基盤の強化に向けて必要な取組を国に対して求めるもの

- **地方財政の充実・強化を求める意見書**
- **すべてのケア労働者の賃上げを求める意見書**



5月補正予算の主な補正項目

- **自宅療養体制の確保…20億6,000万円**
自宅療養者の健康観察や医学管理を実施
- **新型コロナウイルス感染症対策調整費…14億円**
- **学校教育活動の支援…1億5,483万円**
寄宿舎生や部活動県外遠征参加者等のPCR検査を実施
- **商工団体の相談支援体制の強化…5,730万円**
事業者の事業継続支援のため、商工団体の人員配置を助成
- **乗合バス整備緊急支援事業…4億286万円**
県内バス事業者の乗合バス更新経費の一部を助成

- **出雲縁結び空港周辺対策事業…6億5,782万円**
運用時間の延長に向けた調査、機器更新工事等を実施
- **国民スポーツ大会競技施設整備…2,360万円**
美郷町が行うカヌー競技施設の整備事業を支援
- **感染症及び原油価格・物価高騰対策資金…422万円**
融資枠：農業者向け：10億円／漁業者向け：2億5,000万円
- **県立学校等への光熱費支援…1億1,325万円**
児童・生徒の学習環境確保の為、学校光熱費を増額
- **原油価格・物価高騰対策調整費…5億円**
高騰対策に機動的に対応するため枠予算を設定

5月定例会
一問一答

私自身、はぴことして活動するなかでの経験や、はぴこさん達からの意見について質問に盛り込ませていただきました。鳥取県との連携も成果が出ており、コロナ禍の婚活事業としては「しまコ」は欠くことのできない対策の1つとなっています。今後も登録者、成婚者数が増加していくよう、県の支援強化を促していきます。部活動と地域スポーツの今後については、特に小規模校の部活動が岐路に立たされています。県の答弁は具体的な解決策を持ち合わせていないと受け止めましたが、今後も引き続き、地域の学校部活動が持続可能なものとなり、各地域のスポーツ振興が図られるよう考えていきたいと思っております。

コロナ禍の結婚支援について

※えんトリー・・・鳥取県が運営する婚活サポートセンター
※はぴこ・・・島根県縁結びボランティアはっぴいこーでいねーたー
※しまコ・・・島根県が運営する有料会員制マッチングアプリ

結婚対策における鳥取県との連携の成果は？また山口・広島両県と連携できないか。

健康福祉部長：令和3年度末時点で、島根県在住者でえんトリー会員と交際された方が112名、成婚が7組と、一定の成果があった。

他県との連携は、結婚を契機に転出を懸念されている市町村もあり、各市町村の意見を聞いた上で検討を進めていく。一方で県外在住の島根県出身者や島根県への移住をお考えの方等に対し、はぴこやしまコのほか、婚活イベント等の情報提供を行うことも有効であり、今後はこうした取組も進めていく。

スマホでしまコ閲覧が可能となったが、今後どのように登録者や成婚者数を増やしていくのか。

健康福祉部長：県全体では婚姻件数が減少する中、縁結びサポートセンターが関わった件数の割合は増加している。しまコの登録料無料キャンペーンによる女性会員数の増加もその要因の一つと考えている。

リモートによる登録や閲覧数を増やすことは、交際数や成婚数の増加につながるものと考えており、SNSや分かりやすい動画などを通じて、リモートの仕組みなどを積極的にPRし、しまコの認知度の向上を図っていく。

しまコの登録には独身証明書が必要となるが、登録を躊躇する要因になっていないか。

健康福祉部長：県実施の結婚意識調査では、しまコに登録しない理由として「手続きが面倒」という意見があり、独身証明書の提出を含む手続きが登録を躊躇する要因の一つになっている。一方、女性からは、マッチングアプリを選ぶ決め手として、公的機関が運営していることへの回答を多くいただいております。安心して使えることも大事な視点。県としては、利用者が安心して登録・活用いただくことが最も重要であり、独身証明書の提出は必要と考えている。

持続可能な学校部活動と地域スポーツの振興について

県立学校の運動部活動数、部員数の状況はどうか。

教育長：島根県高等学校体育連盟に登録されている全日制的県立高校の運動部の数は、昨年度が533で、平成23年度の588に対し、約10%の減となっている。また、この間の生徒数の減は約18%だが、部員数については8,559人から7,426人へと、約13%の減となっている。

持続可能な部活動と教員の負担軽減の両方を実現できる部活動改革に県はどう取り組むのか。

教育長：教員の時間外勤務の縮減や指導面での精神的な負担軽減の観点から、教員に代わって単独で指導ができる部活動指導員や、教員の指導を補助する地域指導者を、希望する学校に配置している。

国が進める地域移行については、現在部活動として実施している競技の指導者がその活動地域にいないなど、多くの課題があり、国が目指すとおりには進まないのではないかと考えており、今後の国の動向を注視しながら、県内の実情に応じた部活動改革に取り組んでいく。

高校部活動の偏在が学校進学に与える影響と対策について伺う。

教育長：生徒の中には、進学先を決定する際に、学科や、家から通えることを優先し、これまで取り組んできた競技を諦めるケースもあることから、今年度から、生徒が通う学校に希望する競技の部活動がない場合に、他校の部活動に参加し、指導を受けることができる制度を創設した。

特別体育専任教員・スポーツ推進教員が特色ある学校づくりにどう寄与しているのか、成果と課題を伺う。

教育長：競技力向上などのため、同じ学校で長期にわたり部活動の指導を行うことができ、インターハイの優勝や入賞者を続けて輩出するなど、一定の成果が上がっている。一方で、特別体育専任教員が専門とする競技種目は、もともと県内での競技人口が少ないため、多くの小中学生が取り組む環境が整っておらず、年によっては大会等への参加に必要な部員数が集まらない、あるいは練習相手がないなど、安定的な活動の維持継続に課題があり、幼年期から競技に親しむ体制づくりが必要ではないかと考えている。



部活動指導者が地域スポーツの振興において中心的な役割を担う必要があるが所見を伺う。また地域スポーツ振興を図るため競技団体や市町村との連携が一層必要ではないか。

環境生活部長：国民スポーツ大会に向けて配置する指導者は、優秀な成績を収めることを最優先で取り組んでいただきたいと考えて、地域スポーツ振興に中心的な役割を担うことについて一律に期待するのは難しいと考えている。

一方で、競技力向上では、ジュニアへの普及から高校までの強化を体系的に行っていく必要があり、競技団体、スポーツ少年団、学校、市町村、指導者などが密に連携を取り、地域のスポーツの振興が図られるよう取り組む。

